

後楽園

幻想

能

舞台

日時 平成29年

8月21日月

◆開場 午後6時

◆開演 午後6時30分

(元天などで、時間が変更になる場合があります)

会場

岡山後楽園能舞台

狂言 〈二人大名〉
ふたりだいみょう
大藏流 茂山千作狂言 〈水掛掣〉
みずかけむこ
大藏流 茂山逸平能 〈巴〉
ともえ

◆解説

喜多流 大島衣恵
田賀屋 夙生

【鑑賞料】(入園料込み) 6,000円

未就学児の出入場は、お断りさせていただきます。●お問い合わせ先 RSK企画事業部
Tel.086-225-7300 (平日 9:00~18:00)

主催:RSK山陽放送 特別協賛:岡山トヨペット 協力:田賀屋狂言会

後援:岡山県・岡山県教育委員会、岡山市、岡山市教育委員会、後楽園魅力向上委員会、岡山県呉服専門店会、山陽新聞社

●チケットのお求めは…

岡山市民会館、岡山シンフォニーホールチケットセンター、ざんざや、岡山県音楽文化協会、田賀屋狂言会事務局
チケットぴあ(サークルK・サンクス、セブン-イレブン)Pコード・458-766

岡山トヨペット スペシャル 後楽園幻想能舞台

◆ 狂言〈二人大名〉

ふたりだいみょう

二人の大名が連れ立って京都へ上ります。供を連れずに自ら太刀を持って出かけましたが、これはどうも格好が悪いと言うので、たまたま通りかかった男に無理矢理太刀を持たせませす。横柄に接する大名に腹を立てた男は、隙を見て大名に切りかかります。立場が入れ替わった男は、二人の大名を丸裸にして、鶏や犬の真似をさせ、なぶり者にします。挙句の果てには…

下克上をテーマにした作品ですが、なぶられている事を忘れた大名は次第に興に乗り、最後は男と、一緒に楽しみだします。中世のおおらかさを持った作品となっております。

◆ 狂言〈水掛簀〉

みずかけむこ

日照りの夏、簀が自分の田を見に行くと、昨日までなみなみとあつた水がありません。ところが隣の男の田には水があるので、簀は畦を切つて男の田の水を自分の田に引き込み、山へ向かいます。そこへ男が田の見回りにやつて来ます。水を取られているのに気付いた男は、畦を切つて再び自分の田に水を引き戻し、水を取られないように番をします。そこへ簀が再びやつて来て水を引き込もうとするので、男と口論になり、ついには取っ組み合いの喧嘩になってしまいます。その騒ぎを聞いて妻が駆けつけますが…

今も昔もよくある農村での「水争い」をテーマにした作品です。水を相手の田から自分の田へ取るところの場面は、狂言のあるつもりで演じる「つもり演技」を使った楽しい場面です。

◆ 能〈巴〉

ともえ

『平家物語 卷九 義仲最期』等を基にした修羅能で、唯一女性を主人公にした曲。木曾義仲（源義仲 二五四〜二八四）は源頼朝の従弟。木曾で育ち平家を破つて征夷大將軍に任じられるが、人心を失つて源義経・範頼の軍に討たれる。巴は義仲が木曾から伴つた愛妾で、騎当千の女武者。美しく力強いだけでなく、哀れさをもつ悲劇のヒロインとして描かれている。前半、義仲が自害した場所に残る巴の亡霊は愛する男が最期を迎えた土地から離れられぬ女心を象徴している。後場で鮮やかな長刀さばきを見せるが、終末で武器を脱ぎ捨て義仲の形見を胸に落ちのびてゆく。勇壮さの裏にある女の哀愁を深く描いている。

◆ 解説

田賀屋 夙生

【鑑賞要領】

- ◆ 観客席への弁当・飲物などの持ち込み、録音・カメラ・ビデオ撮影はご遠慮ください。
- ◆ 出演者・演目に変更する場合がありますので、予めご了承ください。
- ◆ 未就学児のご入場は、お断りさせていただきます。

